

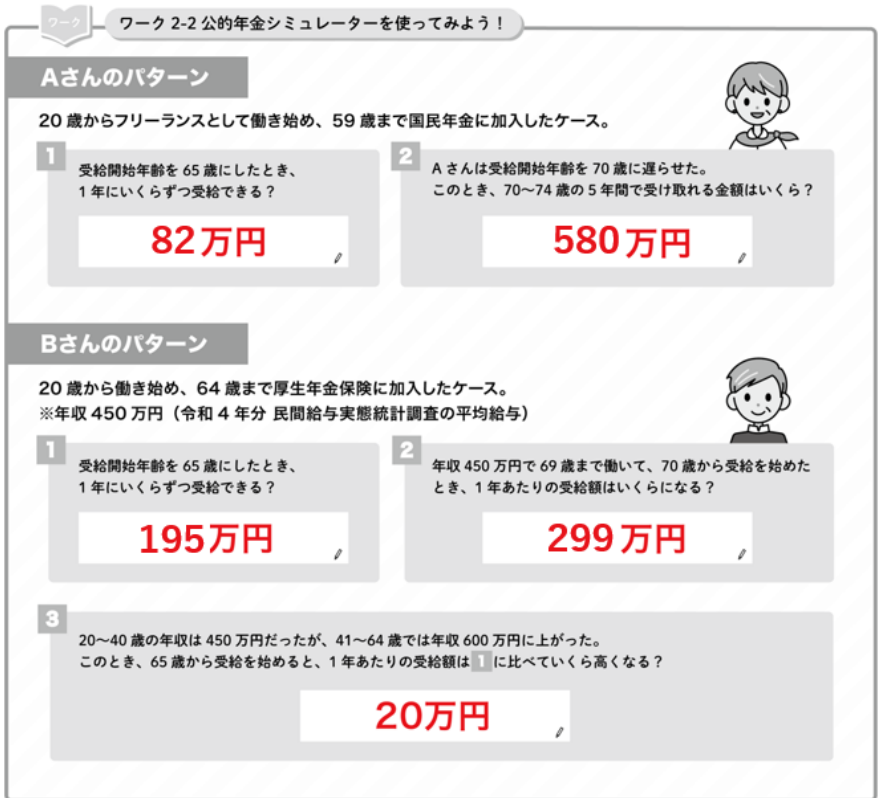
2 時間め ライフプランと年金制度

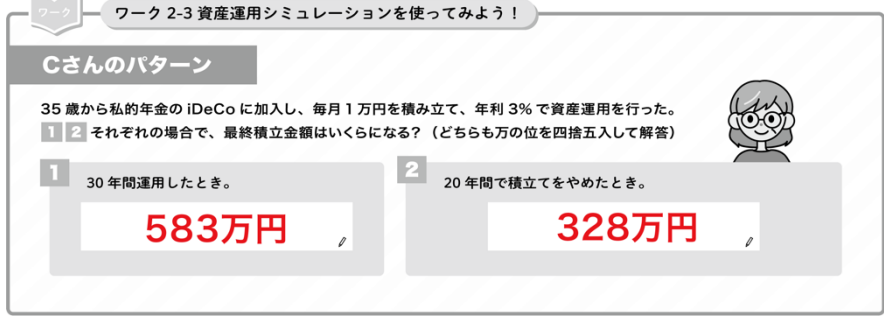
生徒の目標

- ・ 将来の年金額を調べることができ、
日常におけるリスクの存在も理解できる。

時間配分		授業内容	使用教材
導 入	1 分	2 時間目は、「ライフプランと年金制度」です。 前の時間で、働き方や暮らし方によって、年金制度の内容は少しずつ変わっていく、という話をしましたね。ここでは、どのように変わっていくのか、実際に調べてみようという時間です。	
展 開	5 分	(教科書①の 7 行を読む) それではワーク 2-1 の時間です。 さっきの時間でも学んだけど、年金はお年寄りのためだけの制度じゃないんですよ。 どんな年金の種類があったか、どんな制度なのか、5 つの空欄を埋めてみてください。 制限時間は 1 分！はじめ！	①の文上部 ワーク 2-1
	6 分	はいそこまで。 病気やけがで障害が残ったときに受け取るのは障害年金、 死亡してしまったあと、家族が受け取るのは遺族年金、 老後に終身で受け取れるのは老齢年金。 公的年金は、若い時から亡くなるまでの、一生涯の保障ですね。 ワーク 2-1 働けなくなるリスクについて考えてみよう！ 1 白い四角に書き込もう 2 どんな働けなくなるリスクがあるか考えてみよう 働けなくなるリスクって…？ 例) ・ 耳が聞こえなくなり、意思疎通が困難になった。 ・ 人間ドックに行ったらがんが見つかり、長期入院することになった。 ・ 病気やけがで障害が残った。 ・ うつ病にかかり、健康に日常生活を送るのが困難になった。 ※外部障害、内部障害、精神障害の3つに分けることができる。一時的なけがは障害年金の対象にはならない。 公的年金は若いときから亡くなるまでの 一生涯 の 保障 なんだ！	ワーク 2-1 (1)

時間配分		授業内容	使用教材
展 開	8分	ではワーク2です。 働けなくなるリスクにはどのようなものがあるか、書いてみてください。 こちらも1分！	ワーク 2-1 (2)
	13分	ではこのワークでは、何人かあてて発表してもらいたいと思います。発表してくれる方！ （1つ聞いて、その内容が外部障害、内部障害、精神障害のうちどれにあたるか考え、 「じゃあケガじゃない人！」「病気じゃない人！」など別パターンのものを書いた人に挙手してもらって当てる） （全然違うことを書いた人！と3人は当てる） 例えば、耳が聞こえなくなってしまうとか。 病気やけがで障害を負ってしまうとか。 うつ病になって、健康な日常生活を送れなくなってしまうとか、が想定されますね。 障害年金は、外部障害、内部障害、精神障害の3つに分けることができます。 こういった場合には、医師の診断書を提出し障害に関する審査を行った上で障害年金が受け取れることがあるんですね。	ワーク 2-1 (2)
	15分	次は、納付の免除の話です。 （「第1号～ から読む） 下の欄を見てもらうとわかるのですが、20歳をこえていても、学生であったり、所得が少なくて払うのが苦しかったり、妊娠している場合など、納める年金保険料を免除、または猶予される場合もあります。	①の文 下部
	24分	では次のビデオです。このあと、実際にみなさんには公的年金シミュレーターを使ってもらいます。 使い方もビデオの中に出てくるので、よく見てくださいね。 （ビデオ7分）	② ビデオ

時間配分		授業内容	使用教材
展開	38 分	それでは、公的年金シミュレーターを使ってみましょう。 テキストの二次元コードを読み取って、そのあとは自分の生年月日(生徒の生年月日に該当する年がない場合、5年を引いて入力するように促してください)を入れて、自分がAさん、Bさんのライフプランで生活したらどうなるのか、という視点で、操作してください。 Aさんのパターン、Bさんのパターン、全部で5つの空欄を埋めてみましょう。 ではスタート！ (10分～15分進みによって時間をみてください)	ワーク 2-2
	40 分	では、答え合わせをしていきましょう。 答え：82万、580万、195万、299万、20万  ワーク 2-2 公的年金シミュレーターを使ってみよう！ Aさんのパターン 20歳からフリーランスとして働き始め、59歳まで国民年金に加入したケース。 1 受給開始年齢を65歳にしたとき、1年にいくらずつ受給できる？ 82万円 2 Aさんは受給開始年齢を70歳に遅らせた。このとき、70～74歳の5年間で受け取れる金額はいくら？ 580万円 Bさんのパターン 20歳から働き始め、64歳まで厚生年金保険に加入したケース。 ※年収450万円（令和4年分 民間給与実態統計調査の平均給与） 1 受給開始年齢を65歳にしたとき、1年にいくらずつ受給できる？ 195万円 2 年収450万円で69歳まで働いて、70歳から受給を始めたとき、1年あたりの受給額はいくらになる？ 299万円 3 20～40歳の年収は450万円だったが、41～64歳では年収600万円に上がった。このとき、65歳から受給を始めると、1年あたりの受給額は1に比べていくらずつ高くなる？ 20万円	ワーク 2-2

時間配分		授業内容	使用教材
展 開	42 分	働き方や暮らし方などライフプランによって、老後に受け取る年金の受給額がかなりかわることがわかったかなと思います。いま使用した公的年金シミュレーターは、将来の予測を立てるのに役立つものなので、今後も活用してみてください。	
	45 分	次のページにいきます。ここはさらっとになってしまうのですが （公的年金～読む） 先ほど使った公的年金シミュレーターにプラスして、自分で選んで組み合わせていける「私的年金」というものもあります。 （ビデオ 16 分。時間があれば見る） （ワークの答え：583 万、328 万） 	③の文 ビデオ ワーク 2-3
	50 分	では、最後のまとめです。 （まとめを読む） コラムはまた読んでほしいのですが、今日の授業で取り扱ったように、年金の受給年齢を変えることもできるよ、という話をしています。 さあ、2 時間目、どうでしたか？この時間では、実際に将来どのくらいの額の年金がもらえるのか？また、働き方によってどのくらいの差が出るのか？ということ調べる方法を身につけましたね。これからの人生で、いざというときに助けになるかもしれないので、この調べ方も忘れないようにしてほしいなと思います。 さて、これで授業を終わります。1 時間めと同じく、この時間で初めて知ったことがあった人は、テキストの「コラム」の下に空いているスペースに書いてみてください。	④の文